

2020年12月1日

## 日本と韓国をエンタテインメントでつなげる 「日韓IPコーディネート専門チーム(J-KIP)」を設立



株式会社ロボット(本社:東京都渋谷区 社長:加太孝明、以下「ROBOT」)は、日本と韓国のIP(小説・コミック・戯曲等)コーディネート業務を目的とした専門チーム「Japan-Korea IP Coordinate Team(通称J-KIP:ジェイキップ)」を設立致しました。同チームの設立に伴い、これまで行ってきたコンテンツ開発事業に加え、日本の小説・コミック・戯曲等のライセンス管理会社からの委託を受け韓国での映像展開のアプローチや、進行中案件におけるコンサルティング事業を開始いたします。日本のライツ保有者へ信頼・安心を保証した提案から完成その後の二次展開等まで、韓国側とのアソシエイト業務を担ってまいります。

### ■日韓IPコーディネート専門チームの役割

1. 日本IP(小説・コミック・戯曲等)の韓国での映像化コーディネート
2. 韓国IP(小説・コミック・戯曲等)の日本での映像化企画・制作もしくはコーディネート
3. 日本映画での韓国俳優キャスティング、韓国映画での日本俳優キャスティング
4. 韓国映画の日本ロケ、日本映画の韓国ロケの撮影コーディネーション
5. そのほかIP(小説・コミック・戯曲等)・映像関係全般にわたるコンサル

### ■小出真佐樹チーム長 コメント

『愛の不時着』『梨泰院クラス』の日本における認知拡大など、韓国コンテンツへの注目が、これまで以上に高まっています。新たに窓口をもうけることで、より幅広く対応できればと考えています。ROBOTは日本国内においてどの出版社、放送局、事務所、映画会社等の皆様とリレーションが取れる制作プロダクションです。また、韓国でも常に投資会社、制作プロダクションと連絡を取り合っています。その環境と実績を生かして、日韓両国で数多くの話題作をコーディネートできればと思っております。

## ●ROBOTによる「日韓IP案件」過去実績

### ▶日本IPの韓国映像化、演劇化作品

- 2017年 原作:上田誠(ヨーロッパ企画)「曲がれ!スプーン」ミュージカルリーディング  
劇場:大明文化工場
- 2017年 原作:畑澤聖悟「親の顔が見たい」韓国映画化  
監督:キム・ジフン 主演:ソル・ギョング、オ・ダルス、チョン・ウヒ
- 2018年 原作:五十嵐大介(講談社)「リトル・フォレスト」韓国映画化(2018.2公開)  
投資・配給:メガボックスプラスエム  
監督:イム・スルレ 主演:キム・テリ、リュ・ジュンヨル、ムン・ソリ
- 2019年 原作:西田征史「泥棒役者」韓国演劇化  
劇場:忠武アートセンター中劇場ブラック
- 2020年 原作:曾根圭介(講談社)「藁にもすがる獣たち」韓国映画化(2020.2公開)  
投資・配給:メガボックスプラスエム 監督:キム・ヨンフン  
主演:チョン・ウソン、チョン・ドヨン、ペ・ソンウ

以降、撮影確定5作品、開発中6作品待機中

### ▶韓国IPの日本映像化制作、書籍化コーディネート作品

- 2017年 原作:「殺人の告白」(SHOWBOX)日本映画化  
「22年目の告白—私が殺人犯です—」(2017.6公開)  
幹事:日本テレビ 配給:ワーナー・ブラザース映画  
監督:入江悠 主演:藤原竜也・伊藤英明
- 2019年 原作:「ブラインド」(N.E.W /MoonWatcher)日本映画化  
「見えない目撃者」(2019.9公開)  
幹事・配給:東映 監督:森淳一 主演:吉岡里帆

## ●ROBOT日韓IP専門チーム J-KIP問い合わせ先

担当 : 小出真佐樹  
Mail : [jkip@robot.co.jp](mailto:jkip@robot.co.jp)  
特設サイト : <https://www.robot.co.jp/special/jkip>

## ■「ROBOT」について

所在地:東京都渋谷区恵比寿南三丁目9番7号

代表者:代表取締役社長 加太孝明

事業内容:エンタテインメントおよび広告コンテンツの企画・制作事業(映画/TVCM/アニメーション/ゲーム等)

上記内容に付帯する著作権の管理、アーティストのマネージメント

URL:<https://www.robot.co.jp>

---

本ニュースリリースならびに取材に関するお問い合わせ先

株式会社ロボット 経営企画本部(広報担当):新澤彰子 TEL:03-3760-1064 E-Mail:[press@robot.co.jp](mailto:press@robot.co.jp)

---